

HATCH TECHNOLOGY NAGOYA

— 2021 —

過去の社会実証例

犯罪予測による防犯ボランティア活動の最適化 ～日本一安心安全なまち名古屋を目指して～

解決したい課題

刑法犯や市民の身近で発生する 10 罪種中 8 罪種の認知件数が政令指定都市ワースト 2 位。
犯罪を減らすため地域の防犯ボランティア活動をサポートしたい。

実証内容

市内で防犯ボランティア活動を行う 5 団体に、犯罪予測 AI により最適な防犯パトロール経路を作成できるモバイルアプリ「パトロールコミュニティ」を利用して、徒歩/青パトによる防犯パトロールを行ってもらった。地域の防犯ボランティア活動の活性化・効率化・安全性向上に繋がるか、地域全体のパトロール活動をデータ化し、将来のパトロール効果の評価につなげられるかの検証を行った。

実証事業者：株式会社 Singular Perturbations
担当部署：スポーツ市民局地域安全推進課



課題提示型

テラスポ鶴舞 AIカメラプロジェクト

フィールドのニーズ

施設利用者の満足度向上
スポーツ施設の新たな価値の創造
オウンドメディアの形成と情報発信

実証内容

AIカメラ（AIにより無人で撮影及び撮影動画の配信を行うことができるカメラ）を活用して地域のスポーツ大会や練習風景の様子を自動で撮影し、AIによって自動的に試合の中心を追うように編集された映像を配信することで、地域スポーツの活性化及び利用する市民の満足度を向上できるのかを検証した。（アナウンサー志望学生の中継や応援放送も実施）

実証事業者：株式会社 NTT-Sportict
フィールド提供：テラスポ鶴舞



フィールド活用型

お問い合わせ先

Urban Innovation JAPAN



運営：NPO法人 コミュニティリンク

✉ urban_innovation_japan@communitylink.jp

事業主体



名古屋市
City of NAGOYA

IoT Acceleration
Nagoya city Lab

名古屋市経済局イノベーション推進部
スタートアップ支援室スタートアップ支援係

☎ 052-972-3046

✉ a3046@keizai.city.nagoya.lg.jp

Hatch Technology NAGOYAとは

「Hatch」とは「かえす、孵化する」を意味します。「Hatch Technology NAGOYA」は、先進技術の社会実証を支援することで技術の研究開発や社会実装を促進していくもので、「課題提示型支援事業」と「フィールド活用型支援事業」の2つの事業で構成されています。この名古屋から、先進技術という「卵」を社会実装という形でどんどん「孵化」させていくことを目指します。

1 課題提示型支援事業

2 フィールド活用型支援事業



1 課題提示型支援事業

本市が提示する行政課題、社会課題及び新型コロナウイルス感染症関連課題(以下、「コロナ課題」と言う。)に対して先進技術を活用した解決策を持つ企業等を広く募集し、選定した実証プロジェクトに対する費用の一部負担や実証に必要な調整等の支援を実施します。

▶ 募集期間：令和3年6月21日(月)～7月18日(日)

課題一覧

行政課題

遅延なく的確な避難情報発令を！膨大な情報をもとにした危険度判断支援ツールの開発



〔防災危機管理局危機対策室〕
降雨状況や河川の水位情報、各災害の危険度分布情報などを監視・集約し、避難情報の発令判断を助けるシステムの構築・検証

行政課題

ひとり親家庭の負担を軽減したい！手続きサポートシステムの構築



〔子ども青少年局子ども未来企画室 中区役所保健福祉センター福祉部〕
仕事や家事、育児で忙しいひとり親家庭向けに、簡単な入力力で疑問解消や支援制度提案を受けられるツールの開発・実証

行政課題

学校・おうちでできる新しい農業体験でdelaふぁーむをもっと知ってもらいたい！



〔緑政土木局農業センター〕
コロナ禍で減ってしまった農業振興の機会を増やすため、先進技術を活用した参加型農業体験講座などを実証

行政課題

「これ何ごみ？ごみの分別区別がわかりにくい……」市民のごみに関する「？」をいつでも簡単に解決したい！



〔環境局作業課〕
スマートフォンのカメラを使ってごみの分別区分を判断するツールの開発・実証

行政課題

画像認識AIを使ったバスのODデータを取得し、利用者ニーズにあわせた路線設定を実現したい！



〔交通局管理課〕
市バスの乗降口に設置したカメラを使ってODデータを取得するツールの開発・実証

行政課題

SNSを分析し、もっと多くの声を名古屋市の市政に取り込みたい！～名東区の魅力発見から始めてみよう！～



〔スポーツ市民局広聴課 名東区役所企画経営室〕
SNSなどのソーシャルメディアの情報を分析し、市の行政サービスや事業の質向上に資する仕組みづくりが可能かを検証

社会課題

AI・音声解析など、新しい技術で特殊詐欺被害に立ち向かいたい！



〔スポーツ市民局地域安全推進課〕
AIによる音声解析などを活用した特殊詐欺被害の防止ツールの開発・検証

社会課題

金城ふ頭来訪者への最適なアクセスマップ案内ツールの開発



〔住宅都市局名港開発振興課 観光文化交流局MICE推進室〕
レゴランド®・ジャパン・リゾート、メイカーズピア、リニア・鉄道館、国際展示場等の来訪者に快適に楽しんでいただくための港湾物流と調和したアクセスマップ案内ツールの開発

社会課題

「最先端モビリティ都市」の実現へ向けて、先進技術を活用して人の動きを調査したい！



〔住宅都市局交通企画課〕
名古屋市都心部の一定エリアの自動車や歩行者等の動きを把握する技術の開発・実証

コロナ課題

大規模イベント会場内の滞在人数即時計測システム～ウィズコロナ時代における安心・安全なイベント開催を目指して～



〔観光文化交流局MICE推進室〕
コロナ禍での大規模イベントにおける入場者数の把握・管理を手間なく精度高く行う手法の構築

コロナ課題

XR技術を活用してコロナ禍でも臨場感ある上下水道工事地元見学会を実施したい！



〔上下水道局建設工事事務所〕
上下水道工事への理解を深めてもらう工事見学会を安心・安全に実施するXRコンテンツの開発

コロナ課題

コロナに負けるなナゴヤ！AIを駆使した予測と啓発で、新型コロナに打ち勝ちたい！



〔防災危機管理局危機対策室〕
情報入手手段の異なる高齢者と若者に対して効果的な啓発や感染防止対策を進めるためのAI分析と施策立案ツールの開発

本市が提示した上記12課題の解決策を持つ企業等を募集します。

募集対象 先進技術を活用した解決策を持つスタートアップを始めとする企業等

募集期間 令和3年6月21日(月)～7月18日(日)

支援内容 費用の一部負担(行政課題70万円、社会課題400万円、コロナ課題400万円を上限)、実証に必要な調整、イベント等におけるPR、大学・研究機関等における技術相談の斡旋等

選定予定件数

- 行政課題 4件
- 社会課題 2件
- コロナ課題 2件

日程

- 7～8月：審査・選定
- 9～2月：実証
- 3月：成果報告



オンライン事業説明会

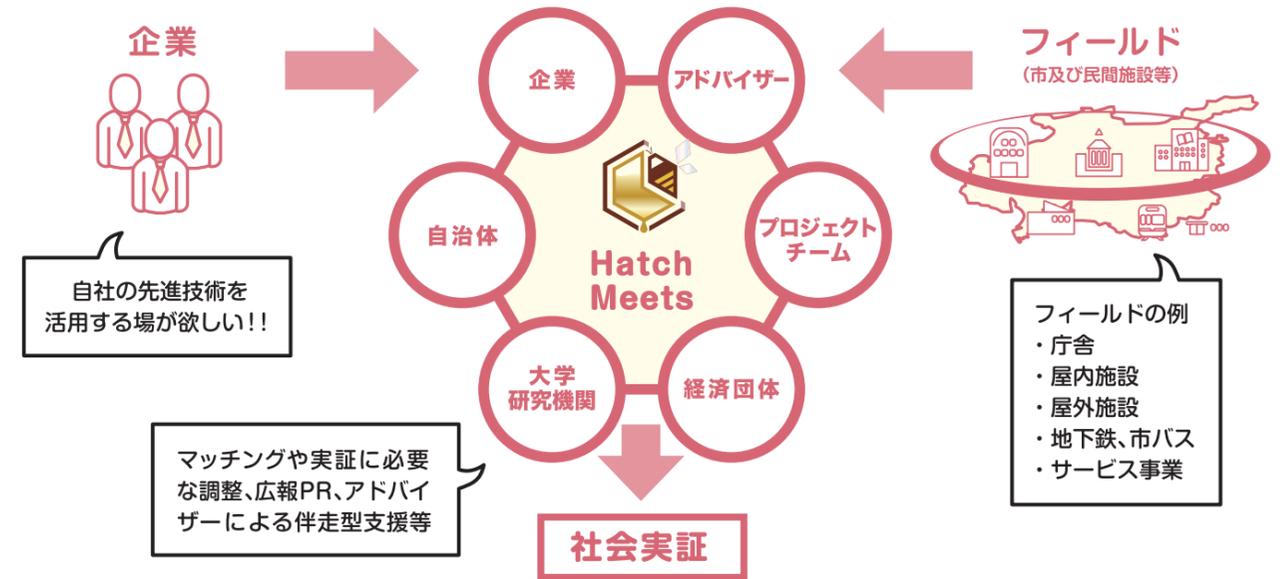
令和3年6月29日(火) 16:00～18:00

2 フィールド活用型支援事業

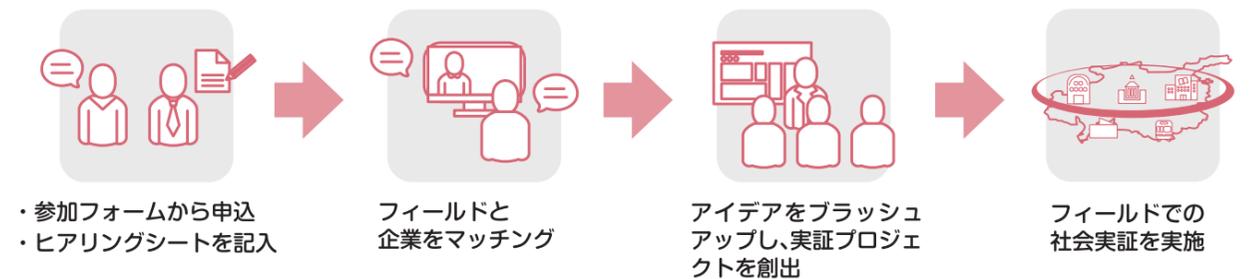
本市及び民間施設等を社会実証の場(フィールド)として活用するため、場の提供と課題の整理・解決をするネットワークコミュニティ「Hatch Meets(ハッチミーツ)」を産学官で立ち上げ、先進技術を有する企業等の提案や実証ニーズを実現します。

「Hatch Meets」とは

アドバイザーによる支援のもと、アイデアや提案をワークショップなどで磨き上げ、企業ニーズとフィールドのマッチングを行い、実証プロジェクトの創出・支援を行う場です。



社会実証までの流れ



本市及び民間施設やサービス等を社会実証の場(フィールド)として活用・提供したい企業等を随時募集しています。

募集対象

- 本市及び民間部門が提供するフィールドにおいて、自社の先進技術を活用した社会実証を実施したい、スタートアップを始めとする企業等
- 自社の施設やサービス等を、実証のためのフィールドとして提供したい企業等

支援内容

マッチングや実証に必要な調整、広報PR、アドバイザーによる伴走型支援等

日程

- 6～2月：マッチング・実証
- 3月：成果報告

お申し込みはこちらのQRコードから行えます。



オンライン事業説明会

令和3年7月12日(月) 10:00～11:00